

カッティングライン（赤ランプ）につきまして

日頃から、弊社の電動断裁機をお使い頂きありがとうございます。

■カッティングライン（赤ランプ） 電球表面には耐熱塗料にて赤色に塗布してあります。

電 源 容 量：12V10W（断裁機により1ヶ使用と2ヶ使用の物がございます）

電球のフィラメント寿命：1000時間

※ 電動断裁機の場合、切れない刃物で紙を切ったり、硬い紙を切ったりしますと機械自体に振動が加わりますので、通常寿命より短くなる事が考えられます。

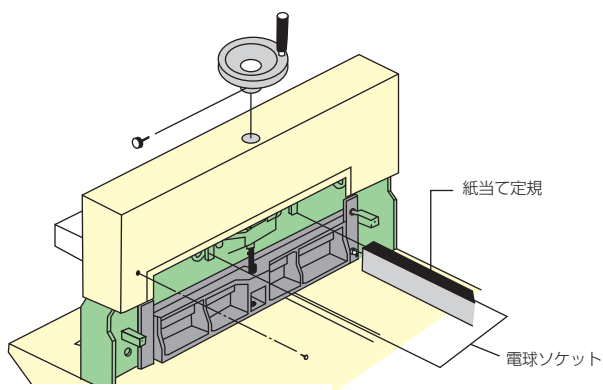
■長持ちさせる為には・・・

通常、電動断裁機はキースイッチをONの状態にて赤ランプが点灯の状態になります。使用後は、必ず電源スイッチをお切りください。（切り忘れ時には赤ランプが点灯したままになっております）通常の100V電球とは違い、長時間のつけっぱなしの際にはかなりの高温になります。

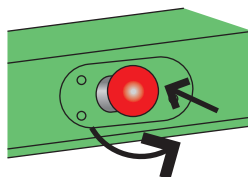
■赤ランプ交換方法

※赤ランプは大変熱く、やけどする恐れがあります。絶対に触らないで下さい。

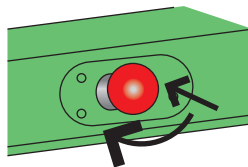
1. 本体カバーを外してください。赤ランプは電球ソケットの後ろにあります。紙当て定規側から紙押さえハンドルの両脇を見ると、電球ソケットがあります。



2. 赤ランプを指で押しながら、反時計回すと赤ランプが外れます。



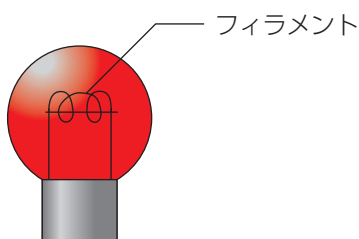
3. 新しい赤ランプを指で押しながら、時計回りに回して取り付けてください。



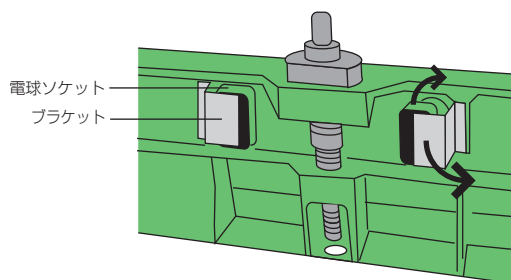
4. カバーを取付ける前に電源を入れランプの点灯をご確認ください。

■赤ランプ交換時のカットラインが出ない場合の調整

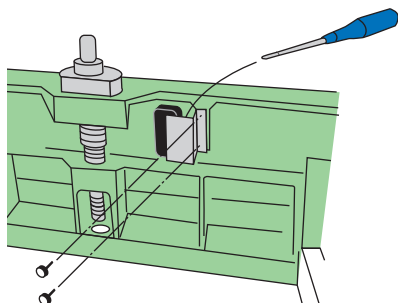
1. 用紙を一枚置いてカットラインが見えない場合、赤ランプのフィラメントの位置が、刃物と紙押さえのスキマからずれてしまっています。フィラメントは位置にばらつきがありますので、電球ソケットの位置を調整してください。



2. 電球ソケットが取り付けられているブラケット（1mmの板金）を手で押ししたり、手前に引っ張ったりすると、赤ランプが動き、カットラインが一本出ます。少し力があるかもしれませんが板金を曲げる様にして下さい。



3. 手前にひっぱったり押ししたりしても、カットラインが出ない場合は、ブラケットのビス2本を外して、位置を確認して、ブラケットを電球ソケットから外して、ペンチ等を使い曲げて下さい。



4. 赤ランプのカットラインが出るように調整できましたら、カバーとハンドルをつけて調整は終わりです。

ご質問がございましたら

oshima

大島工業株式会社

〒448-0045 愛知県刈谷市新富町3丁目32番地
TEL.0566-21-3260(代) FAX.0566-23-3710
URL…<http://www.bi-k.com/>